

平成28年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会 第69回全国高等学校バスケットボール選手権大会

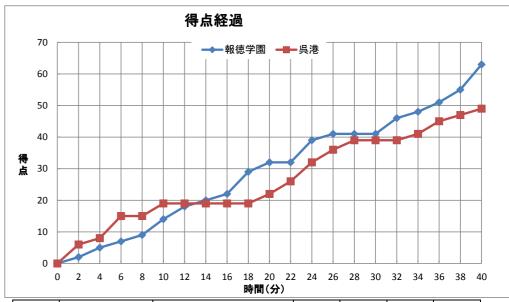
個人トータル表

男子				平	成28年	7月31日	12:50	開始
	1 回戦		県立	総合体	本育館大	アリーナ	F	
○ 報徳学園 (兵庫県)	63	14 18 9 22	1st 2nd 3rd 4th	19 3 17 10		49		ミ港 :島県)

番号	-	氏	名	得点	3P	2P	FT	反則	番	号	氏	名	得点	3P	2P	FT	反則
4	1 B	申	智樹	0	0	0	0	1		4	阿井	勝海	-	-	-	-	_
* 5	有	直田	春樹	4	0	1	2	2	*	5	山根	陸	17	3	4	0	2
* (6 ₹	定 走	建鉱	9	0	4	1	2		6	秋山	海都	1	-	-	ı	-
7	7 10	貫田	悠暉	0	0	0	0	2	*	7	ナカムラ	ジェフェルソン	9	0	4	1	1
* {	3 1	計	優大	6	0	3	0	3		8	吉川	颯	0	0	0	0	1
ę) 亲	桁谷	淳	5	1	1	0	0		9	横畠	祥	-	-	-	ı	-
1	0 1	哥野	芳紀	8	0	3	2	1	*	10	応和	拓実	2	0	1	0	2
* 1	1 桁	直田	剛	16	4	1	2	2	*	11	杉原	碧生	8	0	3	2	2
1	2 札	川公	髙輔	-	-	1	1	-		12	共田	賢人	1	-	-	1	-
* 1	3 記	は水	祐太	15	1	6	0	1		13	クレメン	ゲ ルカス	-	-	-	1	-
1	4 ₹	羽	綺希	-	-	1	ı	_		14	オリベイラ	ウィルソン	8	0	4	0	4
1	5 ナ	七町	尭舜	_	-	1	1	-	*	15	三浦	光	5	1	1	0	3
J	f B	申	敬					0	٦	ーチ	加藤	博					0
AJ-	チ律	≰木	孝友						A	コーチ	加藤	洋子					
	2	<u> </u>	計	63	6	19	7	14			合	計	49	4	17	3	15

主審: 久保知仁

副審: 石丸雅裕



CTO	1•	2P		3•4P		OT1	OT2	ОТ3	OT4
TeamA	4:41	:	36:51	:	:	:	:	:	:
TeamB	8:39	10:59	33:05	37:33	:	:	:	:	:

〔戦評〕

スタートは、報徳学園#5、6、8、11、13 呉港#5、7、10、11、15

第1P、報徳学園はゾーンディフェンス、呉港はマンツーマンディフェンスでスタート。呉港は#7のシュートで 先制する。呉港はルーズボールに強さを見せ、#11、5、10の速攻が決まり、流れを掴む。対する報徳学 園は、ディフェンスによる仕掛けから呉港のミスを誘発し、高さを活かしたオフェンスで巻き返しを見せる。14 対19呉港リードで第1P終了。

第2P、両チームともゾーンディフェンスとなり、守り合いの時間帯が続く。両チーム我慢の時間帯となるが、 呉港のターンオーバーが増え始める。畳み掛けたい報徳学園は、積極的なディフェンスの仕掛けと#13の オフェンスリバウンドが迫力を増し、外角のシュートも入り始める。逆転に成功し、32対22と報徳学園がリードを広げ、第2P終了。

第3P、前半とは一変した展開となる。ターンオーバーの目立つ報徳学園に対し、呉港は立ち上がりから思い切りよくアウトサイドシュート決め、#5の3本の3Pシュートなどで追い上げを見せ、41対39と呉港は2点差まで詰め寄り第3P終了。

第4P、両チーム決め手を欠く時間となるが、報徳学園#11の3Pシュートや#6のリバウンドショットが決まり報徳学園がリードする展開となる。追い上げたい呉港は、積極的にシュートを放つがリングに嫌われ、点差を縮めることができない。呉港はファールゲームに出るも、報徳学園は落ち着いてボールを回し、リードを守り切った。63対49で試合終了。

戦評: 横田 学 記録: 山陽女学園高等部